

第3回
シンポジウム

アカデミアからの 抗がん剤創薬に向けて 天然物の有効利用

2014年 5月12日(月)
9:30-18:30

万国津梁館 オーシャンホール A

〒905-0026 沖縄県名護市喜瀬 1792 番地
宿泊・交通・アクセスについての詳細はHPよりご確認ください。
<http://scads.jfcr.or.jp/>

参加費無料(事前登録制)

総司会：旦 慎吾(がん研)

9:30 開会挨拶および支援活動紹介 矢守 隆夫(医薬品医療機器総合機構/がん研)

基調講演 座長：井本 正哉(慶應義塾大)、富田 章弘(がん研)

9:45-10:20 上村 大輔(神奈川大) 海洋天然物ファンタジア

セッション1 天然物の生理活性 座長：田中 淳一(琉球大)、川田 学(微化研)

10:20-12:00 田中 淳一(琉球大) サンゴ礁生物からの細胞毒性物質の探索
岩尾 正倫(長崎大) 海洋天然物ラメラリンを先導物質とする抗がん剤探索
照屋 俊明(琉球大) 沖縄産シアノバクテリア由来の腫瘍細胞増殖阻害物質の探索
済木 育夫(富山大) がん治療薬開発のソースとしての漢方薬～漢方薬とがん転移～

12:00-13:30 ランチ & ポスタービューイング

セッション2 創薬への展開(1) 座長：吉田 稔(理研)、深澤 秀輔(感染研)

13:30-15:10 水上 民夫(長浜バイオ大) がん分子標的薬開発の状況とリード探索法
佐谷 秀行(慶應義塾大) 既存薬を用いた癌幹細胞治療へのアプローチ
長田 裕之(理研) 理研天然化合物バンク NPDepo の構築と活用
丸山 一郎(OIST) ヒト上皮細胞増殖因子受容体活性化機構と分子標的阻害剤
15:10-15:30 コーヒーブレイク

セッション3 創薬への展開(2) 座長：掛谷 秀昭(京大)、清宮 啓之(がん研)

15:30-16:45 新家 一男(産総研) 沖縄天然物リソースの秘めた可能性
椎名 勇(東京理科大) 新規ゴルジ体機能阻害活性物質 M-COPA の不斉全合成
馬島 哲夫(がん研) 化合物活性予測のための遺伝子発現データベース構築

特別講演 座長：矢守 隆夫(医薬品医療機器総合機構/がん研)、松浦 正明(がん研)

16:45-17:15 吉松 賢太郎(エーザイ株式会社)
海洋天然物ハリコンドリンBの完全合成誘導体エリブリンの創薬開発

17:15 閉会の言葉 上原 至雅(岩手医大)

17:20-18:30 意見交換会(参加費 一般：3,000円、学生：2,000円)

主催：文部科学省科研費・がん支援
化学療法基盤支援活動 班長 矢守 隆夫
事務局：公益財団法人がん研究会
がん化学療法センター分子薬理部 旦 慎吾
問い合わせメールアドレス：cads@jfcr.or.jp

ポスターセッション演題募集

演題締切：3月31日

がん・天然物に関する演題を広く募集します。

詳しくはHPよりご確認ください。

<http://scads.jfcr.or.jp/>

